

第 38 回精華町環境推進委員会 会議録

会議名		第 38 回精華町環境推進委員会		
開催日時		令和 7 年(2025 年) 11 月 12 日(水)10:30 ~ 11:45		
開催場所		精華町役場 図書館集会室		
出席者	委員	寺本副委員長(精華町商工会)、畑中委員(大阪大学)、信田委員(精華町環境ネットワーク会議)、井澤委員(精華女性の会)、岩本登委員(公募)、渡辺委員(公募) (順不同)		
	事務局	健康福祉環境部：澤田部長 健康福祉環境部環境推進課：林課長、藤本課長補佐、大西担当係長		
		(株)よかネット：中川氏		
傍聴の可否		可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可の場合、その理由				
会議次第		<p>1. 開会あいさつ</p> <p>2. 議事</p> <p style="padding-left: 20px;">①年次報告「精華町の環境(令和6年度)」(素案)について</p> <p style="padding-left: 20px;">②精華町第2次環境基本計画中間見直し(素案)について</p> <p>3. その他</p> <p>4. 閉会</p> <p>資料①：精華町の環境(令和6年度)(素案)</p> <p>資料②：精華町第2次環境基本計画中間見直し(素案)</p> <p>参考資料①：第37回精華町環境推進委員会議事録</p>		

1. 開会あいさつ

事務局 第38回精華町環境推進委員会を開催する。
本日の出席者数は6名であり、成立の要件である過半数を満たしていることから、本委員会が成立していることを報告する。

澤田部長 (開会あいさつ)

2. 議事

①年次報告「精華町の環境（令和6年度）（素案）について」

事務局 資料①精華町の環境（令和6年度）（素案）に基づき説明。

寺本副委員長 前回、皆さんと議論させていただいたことを受けて、素案をご提案いただいている。ご意見いかがか。

井澤委員 細かく記載いただいていると思っている。

渡辺委員 全体的にうまく記載いただいているかと思う。

信田委員 これをもとに、具体的な対策につながっていくのであれば、これで良いのかもしれないが、全体的にオブラートに包まれていて、分かりづらい印象である。

寺本副委員長 放置竹林や再生可能エネルギーについて、意識されているというのは感じるが伝わるかどうか。公に発表するものであることから、表現については苦慮されているところもあるかもしれない。

事務局 環境基本計画の中間見直しで反映しているところもあるため、後ほど、その点もあわせてご確認いただければと思う。

寺本副委員長 それでは、議事②を説明いただければと思う。その後、皆さんからご意見をいただければと思う。

②精華町第2次環境基本計画中間見直し（素案）

事務局 資料②精華町第2次環境基本計画中間見直し（素案）に基づき説明。

寺本副委員長 ご意見いかがか。

岩本（登）委員 企業と農業者の連携が大事である。精華町という地域の特徴を考えると、一枚の田んぼの面積は一反以下が多い。山間部は、農業の効率が低い。行政として整備をして広い土地にして、農道も広げるなどが必要ではないか。

企業と連携といっても課題がたくさんある。インフラ整備は企業では難しく、課題として残るのではないかと思う。

寺本副委員長 連携というより、大規模な営農ができるような環境整備の取組に対するご意見かと思う。行政の力が必要というご指摘かと思うので、ご検討いただけたらと思う。

- 畑中委員 精華町のこれから、人口や高齢化との関係も意識してはどうかと思う。
計画策定当時と比べて、環境・経済・社会の統合的向上という言葉
を包摂的という言葉に変えた方がよいと思うが、より求められているとい
うことを濃く出来たらと思う。
- 寺本副委員長 将来に向けて、これから魂を入れていく必要がある。その点ご配慮い
ただければと思う。
- 信田委員 P12 にリサイクル率も減少傾向となっていると記載されている。ごみ
の量は減っていてもリサイクル率は上げる必要があるので、文章の接続
を検討いただきたい。
P16 に排出量削減目標が記載されている。最終的な目標値が記載され
ているが基準年、現状がどうなっているかわからないので、一緒に記載
をお願いしたい。
- 事務局 リサイクル率としては上がるのが望ましいが、ごみ全体の量以上にリ
サイクルできるごみの量が減っているという状況である。分かりづらい
部分については、文章を見直したい。
- 井澤委員 紙媒体が電子媒体に代わっているとは言え、リサイクルできるごみが
リサイクルできないごみに流れているということではないか。
地域の状況を見ると、紙をリサイクルにまわしているが、分別しきれ
ていない状況も見受けられる。家族数のことなども関係しているかもし
れないが、リサイクル率は上げていく必要がある。
- 事務局 ご意見のとおりである。ただ、今まで新聞・雑誌を買って読んでいた
ものが、社会的背景から物理的に減少している状況もあり、数字に影響
がでていると推測している。
一方、町としてはリサイクルできる紙などについては、引き続きリサ
イクルができるよう、収集していく考えである。
- 井澤委員 内訳としてはという言葉ではなく、そういう状態であることから、分
別にはさらに頑張っていく必要があるという文章にしてはどうか。
私の地域では、容器包装ごみの量が3分の2位に減っていると感じる。
その点、他部署とも連携して取り組んでいただきたい。
- 事務局 啓発活動は、HP等の発信だけでなく、コロナ禍でやめていた地域へ
の出前講座も再開していきたいと考えている。
- 畑中委員 町の意図は分かるが文章に唐突感があるため、「ごみ全体の量が減って
いる動向の中で、リサイクル率も下がっているように見えるが、変化に
応じて、啓発を進めていく」という文章にしてはどうか。
- 寺本副委員長 ごみ全体の量が減るのは良いこと、リサイクル率は低下しているのは
問題ということを分かりやすく記載いただきたい。

- 井澤委員 町民全体へ浸透するようにお願いしたい。
- 岩本委員がおっしゃったように、精華町の農業をどうしていきたいのか見えてこない。P24に掲載されている写真の地域の田んぼは細かな高低差があり、維持しようとする多大な労力が必要となる。その労力を減らすためには、圃場整備が必要と考える。
- 大きな企業が参画することも大事かもしれないが、インフラを整えば、土日百姓も成立する可能性がある。
- 寺本副委員長 環境を整えていくということが営農しやすくなるということにつながるのか。
- 井澤委員 耕作放棄地削減につながる。
- 畑中委員 お気持ちはわかるが、それはまた別の部署での対応になるのではないか。ここでは、環境と経済をセットで考え、環境の分野で出来ることを考えると、やっぱり連携が大事ということになる。農家と地域に新しく来られた企業とをつなぐことで、そこをなんとか両立しようということかと思う。今、おっしゃったことはすごく分かるが、少し行政的な言い方になってしまうが、この計画の範疇を超えているだろう。ただ、意見はどんどん言っていただき、出来るだけ反映していただきたいと思う。
- 寺本副委員長 町の方も難しい部分もあると思うが、ご検討いただきたい。
- 岩本（登）委員 P12の廃棄物について、地域の古紙回収に関することや廃棄物の問題に関する話題が自治会内でよくあがる。自治会に加入されているとごみ出しに関するルールを知っており、ルールを守ってごみ出しされるが、加入されていないと、ごみ出しに関するルールを知らないため、袋に入れずに出されて回収されないケースがある。町に伝えると、ごみを出された方に気付いてもらうために2週間程度そのままという対応をされている。細かい話だが、その他にも問題がたくさん出ている。
- こういう話など、地域のまちづくりの中で感じることを発言させていただきたい。
- 事務局 ご発言いただくことに問題は無い。
- なお、古紙回収については、精華町でも月1回行っており、出来るだけリサイクルできるごみとして回収したいという思いがある。
- また、ごみの問題については、次年度廃棄物に関する計画の見直し予定であることから、詳細な内容はその場で議論いただきたい。
- 畑中委員 家庭でできないことを、地域でやり、それができないことを行政がするということが大切なので、古紙の収集を地域でというのは良いことである。

- 事務局 自治会へ加入されない方へも配布物は届くように改善はしている状態である。
- 畑中委員 今、環境の領域の中で社会と経済を考える必要があり、その観点から精華町を考えると社会関係資本が薄くなってきているのではないかと感じる。各種取り組みを持続させていくためには、その点を大事にしていくことが大切なので、その話をどこかに入れていただけると良い。
- 信田委員 データセンターはエネルギーをかなり使用するが、今、町内で稼働しているデータセンターがどれくらい電力を使用される想定なのか把握されているのか。
- 事務局 企業の消費電力は、国が取りまとめている部分（CO₂ 排出量）として公開されているが、町に知らされてはいない。
また、企業独自で公表されている情報があるかもしれないが、町に報告というものはなく、建築確認申請で報告されているかもしれないが、担当が異なるため、見ることはできない。
- 畑中委員 あとは、地球温暖化対策の推進に関する法律の公表制度があり、2年遅れになるが、公表される。
平均の排出係数で割り戻すと電力使用量も分かるが、膨大な量であることは確かである。
- 信田委員 日本で大きな風力発電所が北九州沖で25基建設中だが、精華町で建設中のデータセンター社の電力使用量はそこでの発電量を大幅に上回る。ここでどうこうできる話ではないが、精華町の行政、住民としても黙って置いてよいのか。ここでも表現は一部されているが、いくら我々が努力しても響かない状況になってきている。
- 畑中委員 今回、都市排熱のことは書いていただいている。都市排熱の方は地域として直接影響がある。データセンターそのものは、世界レベルでこれから5年10年問題になっていくので、社会問題として動向を見ておくということになるかと思う。
- 寺本副委員長 まだまだ、課題はあるが、半歩ずつとしても進んでいるかと思う。少し手直しがあるかと思うが、よろしく願いしたい。

3. その他

- 事務局 岩本（泰）委員からの情報提供内容について、事務局代読により報告。

4. 閉会